

たのしみは 橋曙覧の短歌の内容を確かめましょう。

たのしみは 妻子むつまじくうちつどひ頭ならべて物をくふ時

① 作者が注目したものは何ですか。一言で言ってみましょう。

↓ 家族との食事

② どんな様子ですか。

いつ・どこで
だれが(何が)
だれと(何と)
どんな
どのように
何を
何をする

↓ 食事の時、
橋曙覧
家族と、妻や子どもたちと
仲よく集まり
並んでいっしょに食べる
食事を
食卓、妻や子どもたちに向かい

③ 作者はどこから見ていますか。

↓ 食卓、妻や子どもたちに向かい

④ この短歌を読んで思ったことは何ですか。

・上手だと思った表現
・自分の経験と比べて
・気づいたこと
など自由に

たのしみは 朝おきいでて昨日まで無かりし花の咲ける見る時

① 作者が注目したものは何ですか。一言で言ってみましょう。

↓ 花の生長

② どんな様子ですか。

いつ・どこで
だれが(何が)
だれと(何と)
どんな
どのように
何を
何をする

↓ 朝、起きたとき、
橋曙覧
昨日まで咲いていなかった花が
美しく咲いているのを見る

③ 作者はどこから見ていますか。

↓ 表の中、部屋の中

④ この短歌を読んで思ったことは何ですか。

・上手だと思った表現
・自分の経験と比べて
・気づいたこと
など自由に